



# 2023年JAF全日本ラリー選手権 第3戦 ワールド九州2023 in 唐津

後援:佐賀県唐津市、唐津ラリーサポート実行委員会 協力:佐賀県伊万里市



**GRAVEL**  
motor sports club  
開催日  
2023/4/14-16

発行日: 2023年4月14日  
主 題: 公式通知N o 4  
宛 先: 全参加者  
ページ数: 1ページ

時 刻: 19:00  
文 書 番 号: 1.04  
発 行 者: 大会事務局  
添 付 書 類: 競技クルーの安全

## 【公式通知N o 4】

### ブリーフィング資料

#### タイヤマーキングについて

マーキングは、TC0先・TC3C先・TC6D先・TC9C先で合計4回行います。  
技術本部においてもスペアタイヤのマーキングを実施しています。タイヤマーキングエリアにてマーキング及び、マーキング確認を行います。その際、マーキング作業並びにマーキング確認をしやすいようにタイヤを積んでマーキング&確認後に収納されますようお願いいたします。このスペアタイヤの取り扱い、固定に関してはマーキングエリアのみサービス員のサービスを認めます。  
タイヤのマーキングは全て(スペアタイヤ込)行いますので、使用されなかったタイヤについては必ず技術本部へそのタイヤを持っていき、マイナスカウントを受けてください。又、タイヤを裏組した場合も裏にマーキングがないため、必ず技術本部にて表に再マーキングを受けてご使用ください。  
各セクションスタートにおいてタイヤ残溝のチェックを行います。

#### ロードセクションについて

ロードブックPAGE4に記載していますので、十分に熟知し行動してください。  
リエゾン区間では一般車両を優先し、道路交通法を遵守して、地元の方々の迷惑にならないように走行して下さい。  
占有区間はTC～SSストップまでとの認識を持って行動してください。

#### スペシャルステージ区間における競技クルーの安全確保の留意事項

ロードブックPAGE2に記載していますので、十分に熟知し行動してください。

#### アイテナリーについて

公式通知N o 1のアイテナリーを最終アイテナリーとします。

#### 特別規則書の訂正について

公式通知N o 1～2で公示しています、ご確認ください。

#### コミュニケーションについて

コミュニケーションN o 1～N o 11まで公示しています、ご確認ください。

#### タイヤウォーミングゾーンについて

TCからSSスタートの間でタイヤウォーミングゾーン(以下TWZ)を設けてます。  
TWZ以外でのタイヤウォーム行為は禁止します。  
ゾーン内でのサービス行為は禁止です。  
クルーはTWZを走行する前に安全装備を必ず着用してください。  
(2023年全日本ラリー選手権統一規則 第9条1)  
但し、スーパースペシャルステージ(SSS)前にTWZは設定しません。

#### 公式プログラムの訂正

大会オブザーバー  
技術オブザーバー 杉村 卓哉 を

大会審査委員会  
技術アドバイザー 杉村 卓哉 に、訂正する。

以上

2023年 4月 14日 19時 00分 競技長 加納 崇一

審査委員長

藤原 篤志

審査委員

高橋 浩子

審査委員

船越 潤

## 競技クルーの安全

- 1) スペシャルステージ内で参加車両がやむを得ず停車した場合、クルーはその場所から少なくとも 50m 手前の目立つ場所に 反射式の三角停止板を配置し、後続車両に適切な合図を行わなければならない。なお車両がコース上にない場合も三角停止板を配置しなければならない。この規則に従わないクルーは審査委員会の判断によりペナルティが課される。
- 2) 参加車両には、片面に赤字で「SOS」、もう片面には緑字で「OK」と書かれた A3 判のカードが搭載されており、救急医療措置が不要な場合もしくは消火が必要でない場合は、「OK」ページをすべての後続車に明瞭に提示すること。また、他に援助を行おうとしている者(ヘリコプター等)があれば、それらに対しても同様に提示すること。停車車両がコース上の場合は、状況に応じて停車状態をボディアクション等で後続車両に対し当該区間最終車両通過まで合図をすること。
- 3) その後速やかに復帰が可能か否かを判断すること。
- 4) 復帰可能と判断した場合、安全確保を最優先に作業を実施する。特に後続車両が接近した場合は、作業を中断して安全な場所へ退避すること。
- 5) 復帰不可能と判断した場合、当該区間最終参加車両通過まで車外の安全な場所で退避すること。
- 6) クルーが車両から離れる場合、後続車にはっきりと見える場所に「OK」ページを提示しておくこと。
- 7) 近接した地点に複数車両が停止した場合、それぞれの車両が上記 10.1~10.6 を実施すること。
- 8) 救急医療措置が必要な場合もしくは消火が必要な場合は赤色の「SOS」ページを提示すること。これが提示されていた場合、後続車は下記の手順に従う。また「OK」「SOS」のどちらの提示も無く、車両がかなりのダメージを負っていてクルーが車両内および／または車両の外にいると思われる場合も 同様の手順に従うこと。
  - ①援助するために直ちに停止する。その他の後続の車両も停止し、事故現場に 2 番目に到着した車両は、事故のことを知らせるために次のラジオポイントまで行く。
  - ②それ以降のすべての後続車は緊急車のための車幅を空けて停止し、援助を行う。なお、後続車が援助にあたる場合、少なくともクルーの 1 人は以降の後続車への告知対応を行うこと。
- 9) 上記.2 または.8 の場合で、いかなる理由においても「OK」「SOS」ページを掲示することが可能でない状況にあるときは、車外でクルーによって示される明らかで明確に理解できるジェスチャーで置き換えることができる。
  - 一腕を上げ、親指を立てて示す「OK」(図1)
  - 一頭の上で腕を交差して示す「SOS」(図2)



図 1



図 2

リタイヤしたクルーは、リタイヤ届を必ずオーガナイザーに提出しなければならない。この規則に従わないクルーは審査委員会の判断によりペナルティが課される。